

2021年8月29日 聖霊降臨後第十四主日礼拝説教
「穢れたものと聖きもの」(マルコ7章1～8、14～23節)

○マルコ7章1～8節について

「この民は 口先では わたしを敬うが、その心は わたしから遠く離れている。」(6節)

救い主イエスに、ファリサイ派の人たちが「なぜ、あなたの弟子は言い伝えに従わず、穢れた手で物を食べるのか」と尋ねた時(5節)、キリストは、彼らを「偽善者」(6節)と呼び、神のみことばよりも「人間の言い伝え」(8節)を守り、人の行いによって〈神の聖さ〉を得ようとする間違った考えを戒められた。

※教会や信仰生活のうちにある〈見えるもの〉〈形あるもの〉などは、あなたの清さや正しさを示すものではなく、神の聖さと義しさを賜わるためにある。

今日のみことば：マルコ7章20節

「^{ひと}人から^で出て来るものこそ、^{ひと}人を^{けが}汚す…^{にんげん}人間の^{こころ}心から、^{わる}悪い^{おも}思いが^で出て来るからである。」

神の子イエスは、「言い伝えで神の言葉を無にしている」(13節)ファリサイ派の人たちを責められた後、群衆に向って「皆、わたしの言うことを聞いて悟りなさい。」(14節)と呼びかけ、人の体に入るもので人を穢すものはなく、人の心から出るものが、その人の思い、言葉、体、行いを穢していくと教えられた。

※赦された罪びとである〈わたしたちの心〉からは、なんのよきものも出て来ず、神が〈人の心から出る行い〉に応じてあなたを聖められることもない。

☞神は、みことばと聖霊によって、あなたの罪を赦し続け、その赦された者のうちに〈生けるみわざ〉を現し、神があなたの心を聖め、よい思いを与えられる。

「良い贈り物、完全な賜物は みな、上から、光の源である御父から来る」(ヤコブ1章17節)